

「大丈夫」って、大丈夫？

以前から「大丈夫(だいじょうぶ)」という言葉が気になっていました。

近頃(といっても何年も前からですが)、お店の店員がよく口にする「大丈夫ですか。」のことで

す。
例えば、レストランでランチを注文したときに、「コーヒーは、大丈夫ですか。」と言われる。私は、大丈夫か、と聞かれることの意味がよくわかりませんでした。

店員の「コーヒーは、大丈夫ですか。」を意識しますと、「コーヒーもご用意できますが、よろしいですか。」になろうと思います。

「大丈夫ですか。」という言葉は、本来、病気で苦しんでいる人や悲しい出来事があるつらい思いをしている人等に対して、いたわりを持って問いかける言葉だと思っています。「**コーヒーは、大丈夫ですか。**」と言われることに違和感を覚えるのは、私だけでしょうか。

言葉の使い方は、時代に応じて変わって行くものだと思います。

「ら」抜き言葉も市民権を得つつありますし、「チョー(超)」も耳に馴染んで来ました。しかし、「大丈夫ですか。」は、とっさに意味が理解できないことがあり、戸惑います。

昨日の出来事です。

お店で会計をしようとするお客さんに向かって、店員が「ポイントカードをお作りしましょうか。」と聞きました。そのお客さんの答えが、なんと「大丈夫です。」だったのです。

顔を上げて、二人の行動に注目しました。

お客さんは中年男性。支払をすませると、サッと店の外へ出て行きました。さっきの「大丈夫です。」は、「必要ありません。」の意味でした。

みなさまの大丈夫は、大丈夫ですか。